

ひとり☆ひとりの個性を大切に

放課後等テイサービス ば ず る

ばずるでは、お子様に「楽しい」という気持ちを一番に大切にしたいと考えています。ひとり☆ひとりに寄り添い「楽しい」と思える事を一緒に見つけ、広げていくことでより豊かな未来につなげていけるようサポートさせていただきます。

令和7年4月
OPEN ★

お子様にあった
サポート

豊富な経験の場

「できない」から
「できた」へ

ご利用案内

対象：小学生～高校生

定員：10名

対象者：受給者証が必要です

お住いの市、町または当所まで
お問い合わせください

提供・開所時間

平日/13:30～17:30

学校休業日/9:30～15:30

※土、日、祝祭日、お盆、地方祭、年末、
年始は閉所となります

※土、祝イベントあり

ご利用料：児童福祉法に定められた利用料金

※教材費は実費になります

その他：勉強会や相談会など開催します

大切な時間のピースを

ばずるで過ごしましょう

所在地：西条市喜多川515-8
お問い合わせ

0897-29-2900

070-8924-8864

管理者：高木



事業所名

放課後等デイサービス ばずる

支援プログラム

作成日

令和7年 3月 10日

法人（事業所）理念	<p>【法人】 ○何事も自分で考えて、積極的に活動し、友達と協力し合い健康で自主性のある子供の育成を目指す。 【事業所】 1.ひとりひとりの個性を尊重し、個人の尊厳を大切にします。2. 社会福祉に貢献できるように地域との関わりを大切にします。3. 子供、保護者、支援者がいつも笑顔でいられるよう努めます。</p>						
支援方針	<p>○個別療育支援・ひとりひとりの特性や課題に配慮したしつかり子供に寄り添った個別支援。 ○季節を大切にした療育支援・季節の創作活動や季節を感じる体育、文化活動を取り入れた療育支援。 ○ソーシャルスキルトレーニングによる療育支援・将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう集団行動や対人関係においてのスキル・トレーニングを行う。 ○構造化等による療育支援・・障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。子供に合わせた環境からのアプローチを実践する。</p>						
営業時間	9時	30分から	17時	30分まで	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1653 421 1877 483">送迎実施の有無</td> <td data-bbox="1877 421 2154 483">あり</td> </tr> </table>	送迎実施の有無	あり
送迎実施の有無	あり						
支援内容							
本人支援	健康・生活	<p>健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。障がいの特性及び発達の特徴・特性等に配慮し心身の両面に気配りできるように適切な観察を行う。体調に変化がある場合には、適切な対応を行い、健康状態の把握に努める。（例・医療機関への受診、保護者への状況の報告等）身の回りを清潔にし、片付けや整理整頓ができるように支援する。1対1での対応を基本とし視覚情報の提示など子供の障がい特性に合わせた支援を実施し健康的な生活のスキルを身に付けられるよう支援する。1日のスケジュールを提示し、基本的な生活のリズムを身に付けて生活習慣の形成ができるように支援します。長時間の利用となる場合、おやつ作りなど体験する。その他、子どもの障がい特性に合わせて感覚等に配慮したり食べる時の支援を視覚支援を用いて支援する。</p>					
	運動・感覚	<p>リズム遊び、感覚教材、季節の創作活動や様々な道具を使って感覚の活用をする。ひとりひとり子供を評価し、子どもの障がい特性に合わせて日常生活に必要な移動能力の向上のために運動に関する遊び等子供に合わせて実施する（サーキットやボール）子供の発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるような遊びを通して支援する。（新聞遊び、ボールプール、トランポリン、砂遊び、水遊び、）長期の利用の際はドクターイエローなど活用し感覚過敏な児童に配慮した環境設定。</p>					
	認知・行動	<p>認知や行動の手がかりとなる手順書等を用いて認知機能の発達を促す為に創作活動をスケジュールに取り入れる。構造化された環境から必要なメッセージを選択し自ら行動につなげるという認知過程の発達を支援する。子供の発達段階に対応した形の大きさや数の概念、数量、重さ、色別等課題自立課題等を取り入れながら支援をする。個々の子供の発達段階や特性を理解した上で環境調整や支援者の関わり方の調整も行う。また子供の認知の様子など保護者に伝え家庭での具体的な支援を共有する。視覚ツールを用いてスケジュールを見ながら見通しを持って自主的に行動できるように支援する。児童の特性・ストレスを活かし児童に合わせて支援を行う。</p>					
	言語コミュニケーション	<p>SSTを使い場にあった人とのコミュニケーション能力を構築できるように支援する。読み書きに対する学習支援を行う。文字、記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と医師の伝達が円滑にできるように支援する。子供の発達段階に対応するコミュニケーション手段の指差し、身振り、サインなどを選定し、環境の理解と意思の伝達ができる機会を積み重ねていくように環境及び関わり方の調整を実施する。様々な人とコミュニケーションが取れるように日々の会話の中に絵カードなどを用いて日常会話を沢山行う。</p>					
	人間関係社会性	<p>児童に合わせたコミュニケーション支援を行い、指差しや身振りを交えた意思疎通の支援を行う。児童の発達段階に応じた環境調整や関わり方の調整を行い自発的に集団に参加し手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援していく。遊びを通して人の動きを真似たりして社会性や対人関係の芽生えを促していく。また発達段階に応じた感覚機能を使った遊びから運動機能を働かせる遊びの環境を整えてこころ遊びや集団遊びへ促す。関わり方を支援する中で徐々に社会性の発達を支援する。また大人が介入しながらルールをまもって遊びの場遊びを通してステップで遊びの育ちを促し社会性の発達を支援する。</p>					
家族支援	<p>障がいがあっても子供の育ちを支えていける気持ちを持てるようになるまでの過程において、関係者が十分な配慮を行い、日々子供を育てている保護者の想いを尊重し、保護者に寄り添いながら、家族支援プログラムを行い子どもの発達支援に沿った支援を行う。</p>	移行支援	<p>具体的な移行先との調整、相談援助、連携 家族への情報提供や移行先での環境調整、移行先との援助方法や支援内容の共有、相談支援等による移行先への支援</p>				
地域支援・地域連携	<p>地域のスーパーマーケット・近くのコンビニ・喫茶店 相談支援事業所や福祉サービス事業所と連携・自立支援協議会への参加 学校や併設利用先との情報共有・連携、個別会議への出席</p>	職員の質の向上	<p>定期的な療育会議、職員会議、活動会議、 職員の各種勉強会、研修の参加、社内研修、資格取得 委員会による安全管理の共有</p>				
主な行事等	<p>遠足、お買い物支援、お菓子作り、お料理作り 月に1度は季節の創作活動 季節行事…春⇒お花見 夏⇒プール 秋⇒ハロウィンパーティ 冬⇒クリスマス会、初もうで 動物園、子供の城、科学博物館・職業体験 外食 2回…避難訓練 職業体験 お母さんの勉強会</p>						